

秋高連便り

在京秋田県高等学校同窓会連合会(略称・秋高連)は、昭和61年、27校・250名が参加し、第1回秋高連総会が開催され、初代会長に金谷勇氏(秋田高)を選出して発足した。その後参加校が増加し、現在は40校を超えている。歴代会長は二代目畠山達郎氏(大曲農)が4年、三代目佐々木富也氏(湯沢高)が4年、四代目澤木誠一氏(秋田工)が10年、五代目友成穂秀氏(能代西)が4年、六代目柴田秀二氏(横手高)が2年、七代目高橋実氏(横手清陵学院高)が2年、平成26年4月の総会で第八代目会長に岸本六蔵氏(秋田商)が選出された。第七代目高橋実会長(横手清陵学院高)の下で幹事長の指名を受け、秋高連の運営に携わったことからその一端を紹介する。

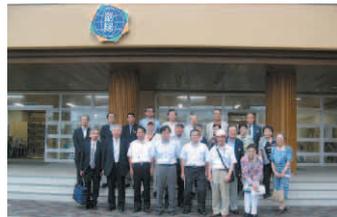
平成25年4月の総会で事業計画および予算(案)の承認を得て計画の実施に入るわけですが、秋高連の事業計画は、「春の総会」「7月のふるさと訪問」晩秋の「秋高連フェスタ」の3本の行事を確実に実施すること、毎年様々な工夫を凝らし更なる充実を図ることに力点を置いて推進してきました。

「春の総会」には100名の会員が集い、議案の審議を行い、交流会では芸達者な会員の披露会にうつり、和気藹々の雰囲気の中で親睦が深められ、エンディングでは女性コーラスの登場で最高潮に達しました。



女性コーラス7名の参加

今回のふるさと訪問は伝統校の秋田高、県央には新規高が無いため平成25年4月に開校したばかりの能代松陽高(能代商高と能代北高と併合)の二校を訪問し、校内の諸施設の案内を頂きました。生徒達の元気な挨拶を初め礼儀の良さに加えて活気を感じることができました。(参加者22名の内、秋工参加者7名)



高校訪問団

夜は男鹿温泉郷の一流ホテルの温泉で癒し、海鮮料理で賑やかに親睦を深め合っているところに予期せず男鹿市長がホテルに現れ、観光男鹿の歓迎挨拶に接し、その熱意に一同感激しました。



能代松陽高

一方、産業面では男鹿の水産振興センターでの鯛、ヒラメ、虎フグ等の栽培漁業、ハタハタの安定漁獲量への取組について学び、さらに船川港の全国5番目の規模を誇る石油備蓄基地等の見学を行いました。最後に秋田県庁を訪問、高校教育課で今後の教育方針を伺ったあと佐竹知事を表敬訪問し、秋田駅で散会となりました。

数年前から要望が多かった愛好者ゴルフコンペを初めての企画として7月に開催、参加者は32名(東京駅・日立高鈴ゴルフクラブ間の送迎バス22名利用)、18ホールストロークプレーの新ペリア方式で行いました。優勝井島捷之氏(秋工36E卒)、準優勝千田義博氏(秋田中央高)、第3位佐々木進氏(秋工40S卒)で、東京秋工会メンバーが大活躍の大会となりました。継続開催が決定しておりますので、会員の皆様の参加を期待しております。



ゴルフコンペ

「秋高連フェスタ」は11月26日にアルカディア市ヶ谷(私学会館)にて300名が集い開催しました。第1部は中村征夫氏(水中写真家・秋田中央高卒)に「命めぐる海からのメッセージ」と題しての講演で

は、世界の海洋写真が人間社会に問かけるものを見逃さずに対応することの重要性について教えられた気がします。



水中写真(中村征夫氏講演から)

第2部交歓会は、在京同窓会紹介に続いて演歌歌手、順弘子氏(八郎潟町出身・秋田中央高卒)が、しのび宿、秋田旅愁等のヒット曲を歌い上げ、親睦交流に強いメッセージを届けたと思っている。



秋高連フェスタ

第3部チャリティには男鹿のナマハゲの雄叫びも登場する等、故郷の伝統文化に触れながらのチャリティで、年々理解が進み浄財の額も増える結果となりました。協力頂きました会員の皆様には改めてお礼申し上げます。



国民文化祭啓蒙作戦

また、12月7日に『首都圏応援団』(秋田県関係16団体で構成)が「第29回国民文化祭・あきた2014」の啓蒙作戦として380名が結集して銀座パレードを実施(秋高連は60名)しました。

明けて本年は本番の10月4日の開会式に向けた「大訪問団」の動員に向けた具体的な活動が展開されます。秋高連も多くの会員の参加をお願いすることになります。是非参加して頂くようお願いして秋高連の活動報告と致します。

◆ 記事

小野 鐵雄 昭和38年土木科卒
東京秋工会 監事

労働安全コンサルタント

登録No: 土 第1213号

小野 鐵雄

(昭和38年 土木科卒)

〒279-0011 千葉県浦安市美浜5-6-1003

TEL&FAX. 047-352-8925

携帯. 090-6566-7936

E-mail: safety-con_tetsuo_o@pa2.so-net.ne.jp